

## 家畜飼養管理 I

講師名	武田哲・堀間久己	実務経験等	武田：家畜保健衛生所での勤務経験を活かし、家畜の役割と動向、品種、特性、衛生と病気、繁殖、育種、飼養管理等に関する講義を担当している。 堀間：農業研究センター、農業改良普及センターでの勤務経験を活かし、肉用牛の生産実態、登録、管理、削蹄、飼料給与と生産、飼養管理等に関する講義を担当している。
-----	----------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
畜産学科・専門科目	畜産・肉畜	必修	1	通年	195	13
使用教科書・副教材	新版 家畜飼育の基礎(阿部亮 他、農山村文化協会)、さらによくなる子牛生産(松本大策 日本畜産振興会)、シェパードの獣医さんがおくる繁殖のちょっと役に立つお話(松本大策他 肉牛新報社)、日本飼養標準～肉用牛2008年版～(中央畜産会)、牛の削蹄(日本削蹄師会)					
授業の目的	肉用牛の特性と飼養管理技術(1年次では主に繁殖、哺乳、育成)の基本を理解し、合理的な経営管理能力を習得する。					
授業の到達目標	肉用牛管理について基礎的な知識と技術を学習し、その技術を日ごろの当番や実習で適宜活用することができる。事例研究で実践的な取り組みを見て知識・技術の理解を深めることができる。					

月日	学 習 項 目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4/15	農場HACCPとGAP	農場HACCPとGAPの基本概念	2	講義	学科共通
4/22	家畜の役割と動向	人間生活と畜産、日本畜産の特徴と動向	2	講義	学科共通
4/22	家畜の生理・生態と飼育環境	家畜の生理・生態と飼料、飼養環境とその調節の仕方	2	講義	学科共通
5/11	家畜の生理・生態と飼育環境	家畜の繁殖と育種、家畜ふん尿の処理と有効利用	2	講義	学科共通
5/20	飼料の生産と利用	飼料作物の特徴、種類と利用	2	講義	学科共通
5/20	飼料の生産と利用	草地の維持・管理、飼料作物の調整と貯蔵	2	講義	学科共通
6/3	家畜飼育の実際(酪農)	酪農(品種、飼育方式、消化・吸収、繁殖生理)	2	講義	学科共通
6/15	家畜飼育の実際(酪農)	酪農(泌乳、搾乳牛・子牛・育成牛の飼育管理)	2	講義	学科共通
6/22	家畜飼育の実際(酪農)	酪農(乳牛の衛生と病気、牛乳の品質と利用)	2	講義	学科共通
6/22	家畜飼育の実際(肉牛)	肉牛(品種と改良、飼育形態と施設・設備)	2	講義	学科共通
7/6	家畜飼育の実際(肉牛)	肉牛(飼料の種類と給与、肉牛の衛生と病気)	2	講義	学科共通
7/13	畜産経営と情報利用	畜産における情報の役割と種類	2	講義	学科共通
7/15	家畜飼育の実際(バイオテック)	バイオテクノロジー、動物遺伝資源の活用	2	講義	学科共通
8/24	家畜飼育の実際(鶏・豚)	養鶏、養豚、ウマ、ヤギ、メンヨウ、ダチョウ	2	講義	学科共通
4月	肉用牛生産実態の概要 農大の肉用牛飼養概況	本校の肉牛飼養概況を理解する。本校HACCPシステム(家畜防疫・衛生対策)について理解する。事例研究(牛の博物館)により牛に関する幅広い知識を学ぶ。	10	講義 事例 研究	事例研究：牛の博物館4/23
5月	和牛繁殖農家の実態 HACCP、GAP	和牛繁殖経営体の概要と子牛生産技術を理解する。繁殖牛のライフサイクルと管理方法を理解する。岩手牧場視察の事例研究により、最先端の家畜改良方法とGAPの取組を学ぶ。	12	講義 事例 研究	事例研究：岩手牧場5/14
6月	種雄牛選定 最新肉用牛研究 削蹄の基礎	外部講師の講義により、種雄牛の系統や繁殖牛への交配方法を理解する。事例研究(畜産研究所)により最新の肉用牛研究について学ぶ。事例研究(中央市場)によりスモール、一般市場取引について理解を深める。外部講師(削蹄師)による講習や実技により削蹄に関する基礎知識を理解する。	22	講義 事例 研究	外部講師：種山6/1 事例研究：畜研6/17 事例研究：中央市場6/29 外部講師：削蹄6/30-7/1
7月	先進農家の技術(ICT) 繁殖牛の管理 種雄牛造成	ICT技術を活用した牛群管理技術について学ぶ。事例研究(種山畜産研究室)により種雄牛造成と凍結精液生産の基礎を学ぶ。事例研究(県南市場)により子牛取引の実際について学ぶ。	30	講義 事例 研究	事例研究：近隣7/9 事例研究：種山7/7 事例研究：県南市場7/8
8月	飼料給与と計算	繁殖牛、育成牛の飼料要求量と飼料計算について理解する。	2	講義	
9月	子牛の管理 登録審査 農家派遣実習準備	子牛の誕生から子牛市場出荷までの流れと管理方法を理解する。事例研究(登録審査)により種牛審査について理解する。農家派遣実習のねらいや派遣先の経営概要、農家派遣実習に臨む心構え等を理解する。	16	講義	事例研究：登録審査9/15
10月	冬期の飼養管理 農家派遣実習の総括	事例研究(外山研究室)により寒冷地における厳冬期の飼養管理方法を学ぶ。各学生の農家派遣実習の総括をするとともに、経営科内での報告会を開催し、相互の派遣農家で体験を共有し、幅広い知識を身に付ける。	14	講義	事例研究：外山10/6
11月	畜産関連企業 登録審査	繁殖の基礎知識を学ぶ。先進農家や畜産関連企業の事例研究により、肉用牛生産の課題とその解決策を理解する。外部講師の講義により、登録審査の仕組みや育種改良を学ぶ。	22	講義 事例 研究	事例研究：県外11/11-12 外部講師：種山11/20
12月	冬期の飼養管理の実践	季節や環境の違いによる飼養管理方法の違いを学ぶ。	8	講義	
1月	冬季の子牛管理 疾病対策とワクチン	冬季間の子牛の管理と疾病予防について理解する。	16	講義	
2～3月	卒業研究の準備	各自の興味関心や問題意識等に基づき卒業研究テーマを決定し、関連する知見を学習するとともに卒業研究計画を策定する。	16	講義	
合計			196	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)	
筆記試験の得点、受講態度、提出物の内容、出席状況により評価する。	
概論の評価割合：筆記試験：70%、平常点：30%(概論以外：出席状況50%、レポート50%)	
履修に当たっての留意点等	
受講に際しては、事前に教科書、参考書等に目を通していただくことが望ましい。授業は教科書に沿って行うが、項目が入れ替わることもあるので注意すること。授業形態は主に板書をして行う。外部講師の講義は主にパワーポイントと自作プリントにより行う。牛舎や実験棟での授業、又は校外事例研究の際は事前に連絡するので確認のこと。	